

さくらばし

桜橋渡り向こうは島の街

もち

餅買い帰る文豪の人

令和六年四月七日

大中臣正比呂



向島は幸田露伴、吉川英治、森鷗外など多くの文豪が住んだ町である。

隅田側に掛かる桜橋さくらばしを向島へ渡れば、直ぐに長命寺桜餅ちようみょうじの店がある。

桜葉ごと食べると、塩漬の葉が餡あんを引き立たせ、何とも美味しい。文豪達も買い求めて居宅に帰ったことだろう。食すれば、筆休めの緑茶一杯は更に癒しであったろう。桜の花見時は過ぎ行くが、桜餅は年中ある。